

## 田中康夫

今月の憂いト

「自己都合解散」から、  
衆議院選挙の結果の概要、  
トランプ政権下のアメリカと  
日本のメディアのあり方まで。

「日本と台湾をコーヒーでつなぐ」をコンセプトに、  
東京・新大久保駅近くにオープンした『DOMO CAFE』。  
ふらっと立ち寄ったお客さんのように訪れた田中・浅田両氏は、  
台湾産のコーヒーや台湾杏仁ティーを飲みながら、  
衆議院選挙の行方や日本とアメリカのメディアについて語り合った。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

## 浅田彰



## 衆議院解散後から、選挙に至るドタバタ劇。

浅田 森友・加計学園問題などで支持率が急落したにもかかわらず、なお憲法改正を旨とする安倍晋三首相は、野党の準備が整わないうちに総選挙をしたほうが有利だっただけで、衆議院を解散した。野党が6月22日に出した憲法53条に基づく国会開会要求を放置したあげく、9月28日に召集された国会を何の議論もないうまま冒頭解散したわけだ。明らかな解散権の乱用だね。

田中 天皇の国事行為として召集される国会の開会式には、天皇自身が臨席し、最近では日本共産党の議員も出席する。それなのに「人づくり革命」を掲げる現政権は、しきたり”の伝統すら端折つたのだから、本当に「保守政権」なのか、実は「革命政権」なのか、判らなくなってきた(苦笑)。内閣改造を含む新政権発足後に、所信表明も代表質問も行わず解散した前例は憲政史上、存在しない。「こんな人たち」だけでなく、「あんな人たち」や「そんな人たち」も対象に、共同通信が9月23・24両日に世論調査したら、今回の「自己都合解散」に反対が64・3パーセント、賛成が23・7パーセント、森友・加計学園問題をめぐる政府の説明に納得できないが78・8パーセント、納得できるが13・8パーセントという反応となった。

こうした中、「選挙戦の中で森友・加計問題をていねいに説明していく」と9月25日の首相会見では述べていたにもかかわらず、公示前々日の10月8日の日本記者クラブ主催の党首討論では森友学園の問題に関して「妻については私が代わって十分、話をしている」と答え、今治市での開校を申請し

ていた岡山理科大学獣医学部の問題でも「反省すべき点はあるが、私が関与したと言う人は1人もいない」と述べ、加計孝太郎理事長を国会招致すべきかどうかとも「本人が決めることだ」と。いやはや、国権の最高機関よりも一人の判断を尊重すべきだなんて、法治主義とは真逆の人治主義でしょ。「自己都合解散」は「高転び総選挙」になるのかなと思っていたけど、都知事選のホップ、都議選のステップに続いて国政でジャンプと考えた東京都知事の小池百合子が、それまで若狭勝と細野豪志の二人に任せていた選挙準備を「リセット」して、三国志のような展開になった。

浅田 その小池百合子は希望の党を結党。民進党の前原誠司代表が小池と会談し、民進党の衆議院議員候補がすべて希望の党から出馬するという奇策を発表した(参議院議員も、そして百数十億円とも言われる政党助成金も、当面は民進党に残したまま)。ところが小池は改憲賛成・安保法制容認を踏み絵にリベラル派を排除すると表明、反発したリベラル派が枝野幸男を中心として立憲民主党を結党することに。しかも小池自身が国会議員への転身を見送り、希望の党が誰を首相に指名するのかわからなくなるといふ混乱の中で、一瞬盛り上がった希望の党の人氣は急速に失速、かえって立憲民主党のほうが予想以上に支持を集めた。かつて日本新党を中心とする連立政権をつくったときの小沢一郎流の多数派工作を試みて失敗したって感じだね。おかげで、自民党と公明党の連立政権は絶対安定



多数を維持。希望の党や日本維新の会も含め、改憲勢力が3分の2を上回る情勢になった。

よかったことがあるとしたら、右も左も呉越同舟だった民進党が解体され、立憲民主党・共産党・社会民主党がリベラル勢力としてかたまつたことだろうけど、数はずいぶん減っちゃった。自民党&公明党の保守勢力と、「希望の党」&「日本維新の会」の極右ポピュリズム勢力が、二大政党のようになるとのは最悪の構図なんで、リベラル勢力がそれにブレーキをかけられるかどうかが問われている。

田中 「東京大改革」を掲げて都知事に就任してから1年以上が経過したのに、変化も成果も見えてこない小池は、ホップ・ステップ・ジャンプを上回るバンジージャンプを「自己都合結党」で企んだ。でも、「排除」という一言でバンジージャンプの紐が切れて、彼女が「高転び総選挙」となってしまったんだね。

浅田 希望の党になる前は、今回落選した若狭勝が「日本ファーストの会」なんて言っていたんで、ドナルド・トランプ米大統領の「アメリカ・ファースト」に近いことも明白。彼は一院制を政策の柱にするとか言っていて、それは小池に「リセット」されても仕方なかった(苦笑)。しかし、「リセット」の経緯にせよ、前原との会談の真相にせよ、すべてが不透明で、小池が勝手に決めたとは思えない。透明性が売りだったはずなのに、まったく逆のことをやっているわけだ。

案された解党に徹底抗戦した議員が一人もいなかったんだから、民進党の所属議員は全員、今回の乱高下の共同正犯ではある。とはいえ、同僚が死屍累々にもかかわらず、無所属で当選した前原が「今投げ出すのは責任ある形ではない」だの「選挙結果が出たので希望との合流は見直さなくてはいいけど」だの相変わらずな口先番長の鈍感力だったのには絶句した。

地方自治体の首長と政党の代表を務める「一足のわらじ」を履く小池を一点だけ擁護すれば(苦笑)、1995年に大統領に選ばれたジャック・シラクは1977年、共和国連合の総裁として国会議員を務めると共にパリ市長を兼務する。1986年から2年間、フランソワ・ミッテラン大統領の下で首相を務めていた間もパリ市長を兼務し、それは1995年に大統領となるまで続いた。実は2005年に僕が長野県知事と新党日本の代表を兼務した時も、2003年に当時の民主党が政権交代に向けた閣僚予定者名簿で地方主権担当大臣として発表した時も、やいのやいのと言われたけど、ヨーロッパでは一般的なんだね。

その後、大阪府知事の橋下徹も地域政党としての大阪維新の会を立ち上げ、日本維新の会へと発展していった。そうそう、プロタイプだった僕の後だから批判が少なくて助かったよ、と言われたのを思い出した。で、ちよびり自慢っぽく聞こえるだろうけど、利息の支払いだけでも1日当たり1億4800万円だった県財政の借金を全国47都道府県で唯一、減少させ続け、基礎的財政収支「プライマリーバランスも同じく全国で唯一、初年度から黒字化させた」と並行して、県単独予算を計上して福祉や教育の充実を図って就任から5年、や

はり国の制度が根本から変わらないとダメだと痛感して、「二足のわらじ」となった。その僕とは違う手法にせよ、橋下の場合も伏魔殿だった大阪府政に数年間、取り組む中で同じ思いになった。でも小池の場合は築地・豊洲問題も1年間、空転させただけで結果を出していないからね。

とまれ、その希望の党とは相容れなくて枝野幸男が代表となった立憲民主党は、行き場のない層の票を獲得して野党第一党となった。共産党委員長の志位和夫が「強い怒りを持っている。4野党のかたまりで総選挙を戦えたら、自公両党の多数を許す結果にはならなかった」と前原・小池のバンジージャンプを批判する一方「立憲民主党が野党第一党となったのは、改憲ありきの動きに大きなブレイキとなる」とエールを送ったのは、大人の対応だった。

浅田 映画『シン・ゴジラ』のヒーローの長谷川博己演ずる官房副長官は、イメージは細野豪志でも、中身はかなりのところまで枝野でしょう。「官房長官として原発事故に対応した経験を踏まえ脱原発に踏み切る」って言えばいいわけよ。

今月号の『ソトコト』が特集してる台湾だって、国民党から民進党に政権交代し、蔡英文政権が25年までの脱原発を明言した韓国も朴槿恵保守政権から文在寅革新政権に交代して、脱原発を明確化した(その後ずいぶんブレてるとはいえ)。日本でも政権交代によってそういう政策転換ができれば意味がない。

田中 本当だね。台湾の民進党は日本と違って、失望されても回復力がある。というか、届く言葉を持っている政治家が与野党を問わず、いるんだろうね。

浅田 『シン・ゴジラ』にはタカカ派の女性

防衛相が登場するけど、あのモデルは第一次安倍政権で防衛相を務めた小池でしょう。何しろ核武装論議も排除すべきじゃないって言った人物だからね。環境大臣としてクール・ビズをぶち上げたイメージがあり、小泉純一郎・元首相から脱原発路線を受け継いだところは巧妙だけど、そういう緑のイメージに騙されちゃいけない。ついでに言えば、純正な自然を守ろうってだけなら、かつてのナチスをはじめ、右翼の主張にも適合するからね。不幸中の幸いで希望の党が失速したこともあり、改憲勢力が3分の2を超えたとはいえ、あんまり露骨な九条改憲は難しくなったんじゃないかな。ただ、安倍改憲案みたいに九条二項は置いたまま三項に自衛隊を書き込むなんてのは、論理的には無茶苦茶だけだ。

他方、経済や財政について言えば、安倍首相は消費税率を10パーセントに上げるか

## 情報解禁日の遵守を、国民の知る権利よりも優先させる 護送船団改め誤送船団・記者クラブは弱ったもんだ。(田中)



田中康夫

たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。http://tanakayasuo.me

わりに増税分の用途を幼児教育などの無償化に充てると表明。でも、それは「次世代のために教育を」と言いつつ次世代につけを回すことにしかならない。事実上、財政再建の先送りにしかならないんだよ。

田中 しかも、自民党の税制調査会は消費増税の用途を衆院選後に議論すると発表した。官邸のグリップが利いていないことこの表れだ。

浅田 金融を見れば、アメリカに続きヨーロッパも中央銀行が量的緩和からの撤退を目指すなか、日銀だけが「異次元」の量的緩和を続けている。たしかに短期的にはインフレーションにならない半面、長期的にはハイパーインフレーションの危険が高まっているわけだ。そこへ公的債務が膨張する一方つてのは、危機的な状況だよ。

田中 なのに総選挙中に開かれたG20財務相・中央銀行総裁会議で日銀総裁の黒田東

彦は、「(国際公約の)2020年度黒字化は断念するが、財政再建の旗は引き続き降ろさず、黒字化目標を日本は堅持する。日本の賃金や物価は(成長が反映されていないが)、時間の問題で上昇する」と発言し、ドイツ財務大臣で議長を務めたウォルフガング・シヨイブレに「慢心は過ちだ」と窘められてしまった。

浅田 よく言われるように、黒田日銀の硬直性は勝ち目のない戦争に突入していった旧・日本軍さながら。財政再建先送りと合わせ、つけはすべて将来世代につけてわけだ。  
**日本とアメリカに見る、メディアの肝玉。**

田中 勝てば官軍とばかりに投票日翌日の10月23日にも、全国の大学の学長や学部長らが委員を務める文科省の大学設置・学校法人審議会の大学設置分科会が、加計学園グループの獣医学部新設を認可する。当初は10月29日も候補日だった総選挙が前倒しとなったのも、認可判断の日程から逆算すると9月28日の冒頭解散しかり得なかったから。今回比例復活となった国務大臣経験者の下地幹郎が9月22日、「今日、文科省の関係者から話を聞きましたが、政府はいま、この話にピリピリと神経をとがらせているのだそうです」と連続ツイートした。

この問題を追及していた朝日・毎日・東京といった各紙は当然、モリカケ隠しのヤブ蕎麦状態な「自己都合解散」を、やぶ蛇「状態に転化すべく大きく報ずるかと思つたのに全然。設置審の開催日は非公開だと文科省が建前を述べても、各委員に夜討ち朝駆けして裏取りすればいいのに、「黒板協定」と呼ばれる記者クラブ室の黒板に記された情報解禁日の遵守を、国民の知る権



利よりも優先させる護送船団改め護送船団・記者クラブは弱ったもんだ。野党も当然、情報を入手していた筈なのに、党首討論会で誰も質問しない。いやはや、「忖度」は官僚だけじゃないんだよ。

メディアと言えば、SNS上の差別的投稿の被害に遭っていた女性をはじめとする人たちが、ツイッター・ジャパン本社前の歩道に、抗議前日まで削除されなかった大量のヘイト・ツイートを印刷した紙を敷き詰めて抗議した。ツイッター・ジャパン代表の笹本裕は「No Hateを願い、この問題に対応するために人的にも技術的にも拡充・改良してまいります」と9月7日にツイートしてから1か月以上、インスタグラムでもあるまいに、犬や猫の写真を貼り付けた由無し言ばかり。「日本対応チームを拡充し、早急な問題解決に向け動いています。また状況をご案内させていただきます」と述べた公式アカウントでも具体的な指針は示されず、特定の個人を事実に基づかない罵詈雑言で攻撃するアカウントが、凍結されずに保護されている。

もう一つ、ジャーニーズのコンサートチケットを転売詐欺した容疑で逮捕された愛知県21歳の女性が、容疑を否定しているのに19日間も拘留された後、誤認逮捕だったことがわかり、釈放された。で、犯人は京都市の女子中学生だったんだけど、大失態を演じた徳島県警本部長に対して、記者クラブは会見を求めようとしなかった。警察と検察のお貸し下げ情報で事件を報じている全国の記者クラブは、この両者の会見だけは主催権を先方に委ねているんだよ。お前らの肝っ玉はどこにあるんだって話。浅田 米軍基地建設に反対する沖繩平和運動センターの山城博治議長らも、公務執行



## 「FOX革命」がインターネットによって増幅され、「露悪」の頂点に 「トランプ」が現れたわけだ。(浅田)

妨害等の容疑で数か月間拘留された。あの事件を初め、沖縄の基地問題を大きく報道し続けているのは、英字紙ジャパ・タイムズぐらいじゃないかな。

前も言ったように、アメリカのメディアはトランプ政権になってから健闘していると思うよ。8月に起きた、白人至上主義者の集会に抗議する人々に向かって車が突っ込んで1人が死亡し、十数人がケガをしたシヤロツツヴィル事件でも、トランプが双方に責任があると発言したら、結果的に白人至上主義を肯定するものと集中砲火を浴びせた。フットボールの試合で、国歌演奏のとき起立せずに跪き、黒人種差別に対する抗議の意思をアピールした選手を、トランプが「球団の経営者はなぜあのクソ野郎をクビにしないんだ」と非難したときも、やっぱり集中砲火を浴びせた。ステイバー・ワンダーも、連帯を表明するた

め、目が不自由だからみんなに助けられてステージで跪くと、多くのメディアが報道する。小池都知事が関東大震災の朝鮮人虐殺犠牲者に対する追悼メッセージを出さなかったことを、あまり大きく報道しなかった日本とは大違いだよ。

アメリカの1980年代はトーク・レディオの時代。ラジオのローカル局で滅茶苦茶に過激なことを言うと、車やトラックを運転している人たちがおもしろがって聞いてた。それをマス・メディアに持ち込んだのがFOXテレビ。CNNなんかの「偽善」に対抗して、本音ぶちまけ型の「露悪」で人気を獲得し、9・11以後、愛国心を煽ったことで、最も信頼されるニュースと言われるようになった。そんな「FOX革命」がインターネットによって増幅され「露悪」の頂点にトランプが現れたわけだ。日本でFOXテレビに近いのは関西のよ

みうりテレビの「たかじんのそこまで言つて委員会」じゃないか。3年前に亡くなった司会者のやしきたかじんはおもしろい奴だったけど、番組全体としては、「偽善」を嫌うあまり「露悪」に走った結果、それまでタブーとされてきた極右に道を開くことになる。橋下徹なんかはそこから生まれてきたわけだよ。そういえば、安倍応援団の百田尚樹もともと関西の放送作家だし。田中 麻生太郎副総裁兼財務相が北朝鮮の有事に関して「武装難民が来たら射殺か」と発言した際、他のメディアは武装が入っていたのに朝日だけが「難民射殺」と書いて抗議が殺到し、後から見出しに「武装」を入れたら我々に屈したとツイッターで祭り騒ぎになった。問題は、そうした片言隻句のファクトチェックでなく、その発言の裏側に潜む意識の是非なのにね。

ウラジミール・プーチン大統領が訪問した安倍首相にウラジミールに武道館をつくらせると言ったけど、そこに掲げる言葉が講道館をつくらせると嘉納治五郎の「人に勝つより自分に勝つ」。最高だよ(笑)。お花畑のネットウヨたちは、北朝鮮や中国に勝つ前に自分に勝ちなさい。

浅田 プーチンは以前、講道館で六段の授与を辞退した。私は柔道を真剣に考えており、今の自分にこの段位を受ける資格がないことがよくわかっている。研鑽を積み、いつの日かその名誉に見合う力を身につけたら、ありがたく頂戴する、と。日本の柔道ファンはいちころでしょう。後に国際柔道連盟から八段を授与されたようだけど。田中 プーチンは世界の国家元首の中でも有数の金持ちで、それはロシアが近代国家ではない証左だけど、善くも悪くも体の張り方はリーダーとして天晴れではあるよね。

### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。  
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。  
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。

